

〈設備名称〉 マイクロウェーブ試料前処理システム

〈管理担当者〉 秋田大学

国際資源学教育研究センター 准教授 高崎康志

〈設備構成〉

名称	型番
1. マイクロウェーブ試料前処理システム本体	(株)パーキンエルマー・ジャパン Multiwave3000
2. 高圧TFM分解容器セット(8本セット※)	(株)パーキンエルマー・ジャパン XF100
3. 高圧石英分解容器	(株)パーキンエルマー・ジャパン XQ80



〈測定原理・その他の詳細〉

出力1400W. 260℃または6MPaまで対応可能なテフロン容器(80mL)8本, 300℃または8MPaまで対応可能な石英容器(80mL)4本を常備. 容器は最大8本セット可能で, 各々同時に加熱処理できる. さらに, 全ての容器の状態を把握できる外部温度センサーを有し, 自動で温度制御を行うことができる.

〈使用料(税抜)〉 590円/時

〈設置場所〉

秋田大学

ベンチャーインキュベーションセンター 101研究室

〈使用例〉

試料の高速分解(高速湿式酸分解など). レアメタルを含む廃棄物からの有用金属の回収において, 試料の前処理(溶解)を短時間で行うために使用.